

う以外の取組を事業なりイベントなり、やっているというのはどのぐらいありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

今、議員が言われますように、森林の機能を発揮させるには、やはり切って、使って、植えて、育てるとというのがやはり一番森林の機能を発揮させる手法かと思っておりますが、今言われますように、なかなか国内産の需要というのは伸びない状況の中で、市といたしましても森林に親しんでいただくということで、小学校での林業教室、また各種公民館事業での木工教室等への支援、また森林の散策ツアーですとか、例年、春と秋に実施しております早川などで行ってるんですけども、森の教室ということで、市民の皆様から、森林・木材に親しんでいただけるような、そうした施策を実行いたしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

糸魚川市の森林面積も、市全体で考えれば非常に広い面積になりますので難しいと思いますが、やはりグリーンツーリズムとか植林で伐採、加工販売以外の活用方法も、ぜひ検討していただきたいと思います。そして、森林に親しむというそういう方法を、今後も検討していただきたいと思います。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を4時20分といたします。

〈午後4時10分 休憩〉

〈午後4時20分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、古畑浩一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。〔17番 古畑浩一君登壇〕

○17番（古畑浩一君）

皆さん、お疲れさまでございます。一般質問のね、大トリということでございます。毎度言うこととございますが、お疲れのことと思いますが、もうしばらくお付き合いをお願いをいたしたいと思います。

それでは、通告書に従いまして、一般質問を行わせていただきます。

1、子育て支援複合施設の建設意義について。

現在、計画中の（仮称）駅北子育て支援複合施設は、DBO方式での予算化を12月議会に上程する旨を、11月9日の総務文教常任委員会で明言しておりましたが、今回見送ったのは、いかなる理由なのか。また委員会では、反対意見や見直し案が多数を占めながらも計画遂行のタイムスケジュール上、今回、決めなければ間に合わないとし、見切り発車のごとく強引な姿勢でありました。今後の日程に影響がないのかお尋ねいたします。

2、ジオステーション鉄道ジオラマの欠陥工事について。

鉄道ジオラマの大改修の目的は、いかなるものであり、その結果と成果はいかなるものであるのか。前議会での一般質問や決算審査特別委員会で、幾つもの欠陥事項が露呈してまいりましたが、それらについてどのように対処するのかお聞かせください。

また設計・制作に当たった株式会社ディディエフ社社長の観光協会の職員、担当のジオラマのスタッフに対する恫喝・脅迫行為の調査をどのように行い、その結果はいかなるものだったのか、お聞かせください。

3、新潟ー上越地域鉄道高速化構想のルート案について。

去る11月2日の新潟日報の紙面において、新潟ー上越地域鉄道高速化構想について4ルート案が示され、そのうち第2案が、長岡駅から直江津駅を経て、えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン糸魚川駅までをミニ新幹線で整備する案が出ておりましたが、市としてはどう受け止めているのか。

また、糸魚川市選挙区選出の唯一の県議会議員である中村康司氏は、速達性と安全性を考えれば、ほくほく線を通る案がいいと述べておられますが、これは第4案であり、上越妙高一長岡間をミニ新幹線でつなぐ案であります。この案では、糸魚川が完全にルートから外れる。糸魚川市の代表である県議会議員の意見として、それが適切なのかどうか、また、後援会長でもある米田市長は、それでいいというふうに話をされたのかどうか、お聞かせいただきたい。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

古畑議員のご質問にお答えいたします。

1番目につきましては、基本計画修正案の内容を議会において引き続きご審議いただきたく見送ったものであり、予定どおり9年度中の供用開始を目指しております。

2番目につきましては、さらなる魅力アップを図るため、臨場感を高める車両カメラの改修と経年劣化した基礎地及びレールの交換を行ったものであります。検査引渡し後の不具合を契約不適合

と判断し、受託者に追完請求を行っております。11月22日に車両の接触及び脱線は改善し、車両カメラについては、一時的に改修前の状況に戻しましたが、来年10月末までに改善するように手続を進めております。

なお、元ジオラマスタッフと受託者とのトラブルに関しましては、昨年度、観光協会が適切に対応したと認識しており、今回改めて市が行った両者への意向確認をもって、現状で取り得る対応は終了したものと判断いたしております。

3番目につきましては、県による検討が進められている段階であり、今後の状況を注視してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それでは、順番を変えまして3番目でありますね、高速鉄道のルート案について。これは、新潟日報のほうにね、11月2日に載った記事であります。あのルート案、糸魚川タイムスでもね、いつでしたか、最近4ルート案が示されました。

市長は、このルート案につきまして、どのように思われますか。どの案が最高だと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

新聞報道であるわけでございまして、直接、県から聞いたわけでございません。

ただ、我々が今までやってきた案プラス、いろんな案がその中に加わったなどは思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

その案は、具体的にこの4つのルート案の中のどれですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

報道を見て、私といたしましては、まだ県のほうに詰めてはございません。

ただ、そういった4案に絞られたということなのかなというぐらいでしかまだないんですが、非常に、これについては多くの自治体が関わっておるわけでございますので、その辺はどう捉えてい

くかというのは、非常に、まだ連携したり、また、そういったことで自治体の首長と話したことはございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

まだ、糸魚川市長としては、この高速ルート案については明確な意思を示してないということですね。私もね、この新幹線の問題も全部含めて、陳情もずっと繰り返してきました。一緒に、市長とも、もちろん繰り返してきましたよね。新幹線やるときにね、基本的には、並行する在来線は切り離して民営化にするという話だった。それが、まさに新幹線を敷設するための条件であったみたいだね。条件でありました。

でもね、皆さんよく考えてくださいよ。糸魚川が直線で結ばれてるの直江津駅なんです。並行するというのは、直江津駅と新幹線が並行することなんです。そこをひん曲がって、上越妙高駅と言ってるんです。こっちが在来線、こっち新幹線、さあこれを並行といいますかと言っている。完全に、離れていっているのに。で、そのときにも申し上げました。確かに新幹線開通で、東京は近くなったけど新潟は遠くなった。今、職員の皆さんもそうですよね。新潟へ出張するとするとなかなか列車じゃ行けない。かつて私が、特別委員会の委員長だったとき、それはあんまりじゃないかと。で、その当時のJR東はだよ、そこはJR西の管轄になるんですが、分かりましたということで快速を通してくれたんです。で、開通時に入ったんです。快速便は、1年間でね、利用者が少ないという理由でやめられましたけど。

でもね市長、あのときから、この北陸におけるさ、鉄道の背骨であるさ、この北陸本線、そしてそこがまさにきれいに、離れ小島みたいになってしまった柏崎市なんかさ、そこと一緒にタイアップして、糸魚川と一緒にこのミニ新幹線つくりましょうって話やってたじゃないですか。あなた、とぼけましたね。何で糸魚川は柏崎を通過して長岡に行くラインを、糸魚川市長としてはっきり言わないんですか。その背景には、何ですか、この中村議員の信越線は強風で運休になることが多い、速達性と安全・安定性を考えれば、ほくほく線を通る案がいいと主張した。中村康司さんのコメントですね。これともしかして連動してるんですか。あなたと県会議員の考え方というのは、こっちのほくほく線の第4案のほうなんですか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほどから申し上げておりますように、私はそのような意見というのではないし、また、新聞を見ただけであるわけでございますので、まだそこまでの判断はしておりません。

しかし、私といたしましては、以前から柏崎の市長を中心に、元西川市長を中心に、日本海沿線にミニ新幹線を走らせようということ、直江津以北を、計画をいたしておりました。合併前からそういう案があった中に、合併をいたしまして、私が市長として、それに加わらせていただきまし

た。その中で、ずっと今、会はずつながつてゐるわけでありましたが、なかなか遅々として動かなかつたのは、やはり、また、事務局である柏崎市の一つの考え方もあつたのかもしれない。

しかし、決してその運動、活動は消えたわけではございません。これは糸魚川、新潟だけの問題ではなくて、我々はやはり日本海の沿線に対して、やっぱり同じくこの特急なりスーパー、新幹線なりを走らせるべきという基本は、私は変わってないと思つております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

市長も慎重に言葉を選んだと思つますね。もちろんこのルートはさ、単なる今は案であつて、それが完成するのに10年かかるのか20年かかるのかもしんない。分かりません。だけでもスタートラインで、振出しのところ糸魚川のラインが入つた以上、今ほども市長が言われたように、今までの主張が認められて第2案に来てゐるんです。

なのにな、糸魚川選出の中村県会議員は、はっきりと第4案がいいつて。上越妙高、ほくほく線を通つて長岡に行く案ですよ。これは糸魚川市としてさ、これは言つてもらつちや困るというふう抗議すべきじゃないですか、市長。あなた後援会長でしょう。親しいんでしょ。ちゃんと言つて下さいよ。それとも、君が考えるなら、それでいいよとやつたんですか、どうなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

まだ私は、県会議員とそのような話はしておりませんし、また、その新聞の報道というのは、私は見ただけのことであつて、やはりそこを言うんだとしたら、やっぱりしっかりと根拠を持つて、根拠といいましょか、どういふ、私も今の案というのは、4案ですか、そのやつに対しては、初めて見たわけではございませぬので、その辺りはどういふ根拠で出てきてゐるのかも分からない状態の中では、まだ、県会議員には、そういったところは話してはございませぬ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

私この中村県会議員とね、そういう政策的な論争したことないんですよ。3回当選されててもね、1回も市議員との懇談会やつたことないし。市長なら仲いいから、まずいよこれと言えんじやないですか。これしかもあれじゃないですか、たつた1人しかいないさ、糸魚川区選出の県会議員でしょう。それはちよつとまずいんじゃないですかね。それは、今は造る、造らないとかという段階の話じゃないですよ、これからどうするつて話。だけど、一番最初が肝心なんではないですか。そこははっきりと言つて下さいね。これは過疎化に悩む糸魚川が、生き残り策として、やっぱり北陸新幹線が、いよいよ敦賀まで開通する。それから乗り換えなしでずっと行けるんだ。もしくは糸

魚川で乗り換えて、ミニ新幹線で新潟へどうぞとやれる好機なはずだ。それを何でほくほく線なんだって。そのまま上越妙高駅まで行って、ほくほく線へどうぞってなる、なりますよね。これは、同じ上越エリアでも全然立場が違うということを十分にお考えいただきたいと思いますよ。

さあ、それでは続きまして、これジオステーションのジオラマ、ちょっと行きたいと思いますけど、さっき何て言いました。11月の下旬にディディエフの社長が来て、改善していったとか、直していったとかって言いましたよね。もう一回ちょっと聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先ほどの市長答弁は、市からの追完請求によりまして、レールの改修のほうを行ったという報告でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

もう少し詳しく言ってくださいよ。どこどこをチェックして、どういうふうに直していったのか。それから、いかなる契約であって、何が契約違反になっているのか、450万円の大改修費用のね。そこをどういうふうにチェックして、ディディエフはどのように対処したのかですよ。これ全然直ってなければ450万円搾取されたんですよ。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

失礼いたしました。全員協議会で、資料のほうも皆様に提示させていただいたと思います。その中に、やはり改善する箇所ということで、2点書かせていただいております。

1点目は、ジオラマの北西コーナーの改善、こちらのほうは、持ち込み車両で、カーブで接触しなくなるようにすること。

2点目は、カメラカーの改善でございます。デジタルカメラに改修はしたんですが、不具合がありまして、デジタルカメラカーも止まる。また、映像が乱れるというところがございますので、そちらのほうを改善していただきたいというふうに言っております。その中で、またデジタルカメラカーにしましたところ、ジオラマスタッフの作業量も増えましたので、できればアナログのときと同様な作業量にしていただきたいというふうな改善要求をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それが11月の下旬に来られたんでしょう。そこで直してったんでしょう。改善していった。何をどういうふうに改善していったのですかとお聞きしてるんです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

改善箇所につきましては、2か所がございますという先ほどの答弁ですが、一つはコーナーの改善、一つはデジタルカメラカーの改善でございます。

今回、11月22日に改善いただいたものにつきましては、一部履行ということで、北西コーナーの改善をさせていただいたものでございます。そちらのほうにつきましては、車両の長いものをコーナーで、カーブのほうで走行させまして、ほかの車両に当たらないことを確認させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

その確認をされたのは、どなたですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

11月22日に検収させていただいたのは、市の担当職員、観光協会の職員、また、ジオラマスタッフ、また、ディディエフの社員でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それは、でもちょっとおかしいですね。こういう調査結果が来てますよ。

10月議会での古畑氏の指摘後、11月下旬、3日間にわたってディディエフが指定箇所の改善工事を行い、最終日に市役所の担当課が立会いの下、工事終了となったとの報告を受け、11月30日にジオパルへ確認に行ってみましたが、残念ながら不具合箇所の解消にはなっておりません。また新たに2か所の計3か所で車両干渉が起こることが確認されたため、以下のとおり報告させていただきます。

見える。この資料を配ってもいいかつつたらね、議場で資料配っちゃ駄目だって事務局に止められましたよね。ここに束になってあるんだけど、市長、分かります、遠くから見ても。車両同士

がやっぱりぶつかってますよね、より鮮明に。何にも直ってないじゃないですか。

あなたさ、一緒に立ち会ったんでしょう。これ、線路のゆがみ、曲がってるのと。線路基盤が全然駄目になってる。でさ、直したというんなら、ちゃんとこういう証拠写真も撮って、改善箇所も撮って、ちゃんと市長に提出したんでしょうかね、市長。まさかこれで、ディディエフの改善終了なんて言ってるんじゃないでしょうね、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

11月22日に検査の立会いは、先ほど言ったメンバーで立会いのほうをしております。またそのとき、私ちょっと所用がありまして立ち会うことができませんでしたので、夕方、同じようにディディエフの社員に残っていただいて、また、ジオラマスタッフにも残っていただいて、その現場のほうを確認させていただいております。私の目から見ても、車両の接触のほうは確認はできませんでした。

また、その完了報告書につきましては、後日、送付で頂いてはおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

これやっぱり、ここにありますんでね、幾らでもあげるよ。今遠くからじゃ見えないだろう。あのさあ、完了報告書はさ、450万円の疑義に対して、やっぱりクレームを出してる。それで改善の工事をやってもらったんですよ。これでいいよって言ったのを、やっぱり駄目とかって2回も連続でできないでしょう。

でさ、大嶋部長、引受けの工事改善の引渡しの、引渡し体制ってどういうふうに考えてるんですか。少し甘いんじゃないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

以前、議員からご指摘をいただきまして、契約の不手際ということで、再度直すように先方の業者をお願いをしたところでございます。その後、11月22日に工事が完了したということで商工観光課長から報告を受けておりまして、私は、そのとき直接現場は確認しておりませんが、そのような報告を実際、課長の目を見て、完了したということで報告を受けておりましたので、契約不適合後の改善については、その後うまく修繕をされたものというふうに捉えておりました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

自分の目では確認していなかったということですね。

副市長、あなた積極的にこの問題やってくれましたよね。まさか見てないということはないでしょうね。いかがですか。確認されましたよね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

商工観光課長のほうから、一般質問の答弁協議の際に完了した旨を市長と共に報告を受けました。ただ、私、現場は確認いたしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

あのね、少し甘すぎるんじゃないですか。あれだけやられて、しかも3月で起こった相談事でありました。担当課を中心にいろいろ話もしました。全く動いてくれないので、9月で一般質問をやりました。その後も決算特別委員会の中で議員の皆様も、これはあんまり、おかしいんじゃないかという話で、450万円もの大規模改修費をつけておきながら、何一つ直ってない。

それから、デジタルカーですか、列車カーの中の、カーカメラにさ、デジタル化にしていって、結局映らないでアナログに戻した。それも来ております。

それで、完全にデジタルをアナログにしたわけじゃないんですね。100%アナログに戻したんですか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今回デジタルカメラカーの改修につきましては、29台ということで発注のほうをしております。今回、Nゲージ、小さい車両の大きなジオラマのほうにつきましては、アナログのほうに直させていただいております。HOゲージにつきましては、2台デジタルカメラカーを走行させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それでいいんですか。それで改善されたことになってるの。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

先ほどの追完請求につきまして、2点させていただいて、1点のコーナーについて、一部履行の届出があったというお話をさせていただきました。

デジタルカメラカーにつきましては、来年の10月31日までという期日をもって、手直しのほうを今はやるような運びになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それが何でなんですか。大規模改修には工期があって、その工期を基に、向こうは工事をされたんでしょう。そんな中で、こちらのほうでクレームが出た。それはそれでやっぱり工期を守ってもらわなきゃ駄目ですよ、1年間。しかも、これやっぱり列車を、カーカメラをデジタル化するのには非常に難しいらしいですね。これできれば、世界初らしいですけど。

でもこちらのほうにね、デジタルカメラの改造につきましてはじゃない、カメラユニットにつきましては、技術が非常に難しい。糸魚川も、やったやったと確かに写っているけど、これはドローンのカメラを改造したものであって、正確に調べていくと、この製品の許可につきましても、非常に、総務省とのやり合いもありますね。これは許可番号がそれぞれついてるんでありますが、その許可番号は、全てその製品に対してついてる。番号付で全部ついてるものだそうです。電線の1本でも、ねじの1本でも構うとそれが駄目になるんだそうです。そういうのも通じて、ディディエフ側の言い分を通じてですよ、確認をしました、問題ありませんでしたってやったんですか。

あのさ大西課長、あなたディディエフ側ばかりの肩を持ってるね。何かあったんじゃないですか。全然直ってないものを、直ってる直ってるって。

で、当然、指摘されるであろうほかのコーナーの接触について、これディディエフ側の改善に頼んでないんでしょう。さっきからどうも何だっけ、一部履行のカーブだけとか何とか、そこだけしか言ってないじゃないの、もしかして。こんだけの問題があるのに一部履行のカーブだけ直してくれりゃいいって話にしてあったんじゃないでしょうね。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

デジタルカメラにつきましては、今ほど不具合もありましたことから、やはり一から開発というものをディディエフは行いたいということで、1年間の猶予を頂きたいということで協議に乗ったものでございます。やはり、改めて提供されるものが、今ほど古畑議員おっしゃるように技術基準適合証明の関係とかもありますし、様々な契約等も発生します。そういったことがありまして、1年間頂きたいということで、私らとすると、やはり最新のサービスを提供できるのであれば、少

しぐらいの期間はちょっと待ちたいなということで了承したものでございます。

また、今回の技術基準適合証明の関係なんですが、ドローンから、やはり取っております。今ほど、業者が確認したことを丸のみしてるとはではないかというお話でございましたが、私のほうは、直に総務省のほうの担当者のほうに確認させていただいております。やはりドローンから、そのまま何も改造せずにそのまま車両に積み込めば、今回の技術適合は、違法ではないというふうなお話を私は直にいただいております。

また、私がディディエフと癒着でもないですけど、そちらばかり味方するのではないかというお話ですが、私の認識では、ただの、私は発注者側であり、向こうはただの受託者側の立場であって、それ以上でもそれ以下でもないかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

このデジタルカメラはさ、ガバメントクラウドファンディングでやったんですか。一般市民から募集したんじゃないんですか、クラウドファンディング、それどうなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

整備するときに、デジタルカメラカーだけではなくてジオパル全体につきまして、クラウドファンディングのほうさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それだけファンがいて、いろんなファンディングしてでもね、ぜひ作ってほしいとやられたものです。

でも市長さ、それならなおさらのこと、これ無責任じゃないですか。4,500万も出して、あそこを建設して、それで年間50万円ずつですよ、約。それを何だ、ディディエフに支払って、あとディディエフはさ、1年間で3年分のメンテナンス料使ったというのは知ってますか、課長。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

ジオパルのサービス提供の最初の3年間なんですが、やはり補修ということで、長期継続契約をさせていただいております。その3年間の経費について、どのような経緯でそのようなお話にな

ったか分かりませんが、3年間の長期継続契約ということ認識していただけたかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

それはもう今となつては確かに証拠もないが、様々なもんで不具合が、車両等、また線路等で不具合が出た。どんどん請求してください。どんどん言ってくださいという。ここが調子悪いというたびに新しい新品が返ってくる。大丈夫なんですかって言ったら、3年分のメンテナンス料は全部使っちゃったっていうね、それも証言だ。証拠のない証言だ。

でもさ、そういうのはやっぱりちゃんと耳傾けていかないと、ところもあなたさ、私はディディエフの肩を持ったつもりはないと言ってるけど、言ってることの態度はさ、ディディエフ側についてるにしか思えない。ねえ市長、どう思いますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

私はやはりいろいろそういった新たな事業である部分と、我々はどうしてもやはりプロではない部分があるわけでごさいます、細かい部分はなかなか分かりにくい部分がございます。そういった中で報告を見ている中で判断でありますので、私といたしましては、やはりそういった報告やそういった検査においては、適切に行われたものと捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

私は、適切じゃないと言ってる。建設費から年間のランニングコスト、今回の450万円、大規模改修費を出しながらですよ。合計で5,000万も6,000万かけて、結局直ってないんです。デジタルカメラだって、市長、あなたが熱望したらしいじゃないですか。熱望するのはいい。

ただ、それをできますよ、作りますよと言ったのは、向こうでしょう。だけど、結局できてない。あなたも建設業や土建業でしたね。あなたさあ、家だって基礎ができてなけりゃ、ガタガタになるの分かりますよね。手抜き工事になるんじゃないですか。これは、はっきりと市長としてさ、そんなじゃ駄目だよって、基礎がガタガタ。

あのね、やっぱり線路の基礎がちゃんとできてないから、長年の間にやっぱりガタガタになってくるんだそうです。それでコルク板を上から貼って、その上に線路を全部取りつけたらしいんですが、その線路も、結局浮いてきてしまって駄目だ。それで、コーナー等を直そうとすると、やっぱり基本的に各メーカーが、そのメーカーによってコーナー、Rの角度が違うんだそうです。これを無理やり合わせようとするから線路の間隔が難しくなって衝突・接触事故が起こってしまう。さらに、無理やり線路、線路は1本分だと思うんですけどね、中にフレキ、まあいいや、自由に曲げる

ことのできる線路があるんです。これさ、直線ラインにそれ使って、線路貼ってあるんだよ。だからガタガタになってくんだ。

私たち素人が見たって確かに分からない。けど、そういうプロのマニアの皆さんたちが見れば、何だこれって、何だこの工事って。欠陥住宅の、そこに住んでたって、住んでる人はあんまり気づきませんよね。ただ欠陥住宅のプロが見れば、これ駄目ですねと。床にビー玉転がしてちゃんと、これは水平取ってませんよ。それと同じなんだよ。これは全部、やり直させるべきですよ、大西課長、ディディエフ側の肩持ってるみたいだけど、いかがですか。

○議長（松尾徹郎君）

ちょっと待ってください。

質問の途中であります、あらかじめお諮りいたします。

このままですと午後5時を過ぎることが予想されます。

したがいまして、本日の会議時間を延長したいと思います、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本日の会議時間を延長することに決しました。

どうぞ答弁。大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今は、ディディエフに対して、追完請求のほうをさせていただいております。ディディエフのほうは、設計から施工まで、また今までメンテナンスのほうをしてきておりましたので、やはり改めて改善を図らせていただきたいという意向がございましたので、履行期限まで様子の方は見させていただきたいなと思っております。

ただ、古畑議員おっしゃるように、私らも今付き合ってる業者は、ディディエフしかございません。ですから、ほかの業者に、改めてどのようなメンテナンス等できるのかということは、今年度中に確認したいなと思っておりますし、また、維持管理につきましても、ディディエフ1社ではなくて、複数の業者で入札等で委託できるような形にしていきたいなと思っております。

ただ、それでも、仮にですが、期限までできないようでありましたら、損害賠償請求等も、損害の内容はまだ把握はしておりませんが、弁護士等に相談したいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

あのね、ど素人が見たって駄目ですよ。どこがおかしいのか分かんない。

そこで、私さ、中間に入ってこうやって質問もやらせてもらってるけど、やっぱりそういうマニアの皆さん、専門の皆さんの中でしっかりとした調査団とか、そういうのを設けてもらって、行政と、そしてディディエフと同じテーブルにつくべきですよ。その物言いは何だとか、何でそのディディエフ側の肩を持つんだと言われたって、大西課長だって、いやそんなつもりないです

よとやっぱり言われると思う。けど、私にはそういうふうに見えるんだよね。これ1回、ちゃんと懇談会を設けたほうがいいと思いますよ、これいかがですか、井川副市長。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

利用される皆さんが、やはり不自由なく使える状態にするというのが、今、市のほうの考え方があります。そこに向けて、今、古畑議員の提案も検討の一つだというふうに思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

全体にこの問題に対する考え方が甘い。それから今回のディディエフ社による、社長によるパワハラ、これにて終わりと言いましたよね。けどさ、私の元にはディディエフに対しての訴訟決定についてという手紙来てますよ。あなたたちは2人で、あなたと大嶋部長、副市長と大嶋部長、わざわざうちにいらしてもらって、いろいろ話もさしてもらったら、パワハラに関しての全く陳謝も何もない。あなたの今の気持ちはどうですか。今はもうやっぱり何とかジオラマが元に戻って、ちゃんとみんなが、マニアの皆さんが集えるように元に戻ってくればいい。後はディディエフはちょっと許せないです。自分自身では戻る気はないと言ってる。

ただ、そう言ったことをあなたうのみにしましたね、2対1で。被害者の側に立って、いろいろ話聞いてやないと、そういうのは無理でしょう。それで、その1回、たった1回の会合で、パワハラにつきましては終了なんですか、いかがなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今回の件につきまして、やはり昨年度からいろいろ事案が発生しておりましたので、観光協会のほうに時系列に沿って確認のほうをさせていただいております。その中で、やはり私らとしましては、観光協会の対応につきまして、やはりその都度その都度、ディディエフに対しては指導、また叱咤等をしておりましたので、適切な対応しておったと思っております。

今回、やはり5月ぐらいから各種相談を頂いておりますので、業者に確認のほうさせていただいたところ、事案については、ディディエフにつきましても認めておりますし、また、やはり相手方のことを考えると申し訳ないという気持ちがあるというふうには私は聞いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

私、面会した際の受止めなんですけども、ジオラマの修繕の対応状況、それから、併せて受託業者からの言動等について不信感を持っているというふうにお聞きをしました。その前段でもお話があったので、私、受託業者のほうにも話を確認しましたが、お互い言われてることは事実だというふうに確認ができております。

それを踏まえて、今回、例えば受託業者から謝罪をお受けしますかということで私もお尋ねしましたが、そのとき、今は会う気持ちにないと。ジオラマを楽しんでもらえる状態に戻してもらいたい気持ちが一番であるというふうには私はそのように受け止めて、そこで話を終了したということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

あなた、あんまりパワハラだとかそういうものの中に入ったことないんでしょう。だからさあ、パワハラってのは、いろんなハラスメントの解決はやはり難しいですよ。加害者と被害者がいて、その心情の中に入ってあげないと駄目。具体的に殴られたとか、蹴っ飛ばされたほうが話が早いんです。でも恫喝されたとか精神的負担を受けたという、その解決は非常に難しい。でもね今回の方は、行政の対応にがっかりされたらしいです。

相談を受けられましたんでパワハラ、セクハラ、そういうハラスメントにつきましては、やっぱり自分が言い続けるしかないですよ。いや弁護士でも労働基準監督署でもやっぱり相談して、それで訴訟を起こすんなら、民事でぜひ訴訟は起こしたほうがいい。こっちのほうは、改修につきましては行政との契約事項なんで、これはもう刑事事件としてやる。もしもそこが詐欺であったり搾取であったり、できもしないことをできると言ってみたり、またその肩を持つ職員がいたり、俺は許さんからね。

それでは、時間がなくなりそうなんで、次行きます。

さて、今回の子育て支援複合施設の建設計画につきまして、今回ね、DBO方式での予算化をするということを11月9日の総務文教常任委員会の中で、市長、明言しましたよね。何で今回、上程しなかったんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

委員会の委員の皆様方のご意見を聞く中において、まだまだ我々の意見を理解してなかったり、また少し、もうちょっと我々も詰めなくちゃいけないということを感じた次第でございますので、その辺をもう少し我々の考え方もまとめて、もう一度、皆様にお示ししながら進めていきたいということで、当初の予定のスケジュールから少し、ワンテンポ、少し時間を頂いたものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

市長、今おっしゃられた部分の、理解が深まらないので、これから理解を得るようにやっていきたいという、この理解というのは、誰に対してですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

総務文教常任委員会委員の皆様です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

そこにやっぱり市民の理解というのは、入ってないわけですか。やっぱり議員さんの理解を得たい。議員を説得するために12月に出すつもりのはずが、3月にするということなんですか。市民にいま一度、真意を問うとか、より理解して深まるように話していきたいとか、そういう気持ちはないんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

我々としたしましては、この案をお示しする中でご理解いただきたい点、結構お願いしてきたわけですが、なかなかこの意見について理解しないと我々は捉えた部分もありますので、再度、我々ももう一度検討して、そしてそれをさらに委員会に説明したいということの時間を頂いたわけでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

しかし今回の、いわゆる急ブレーキですね、これ何があったんですか。私も議会運営委員会の中で議案をもらって、今回上程すると市長が言っていた部分が全く入ってないじゃないかという質問をしたけど、そこは議会運営委員会だって、分かりませんと。早速、担当課の皆さんとこに行って、何で今回載せなかったんですかとそれぞれ聞きました。けど、その担当課の皆さんは、みんな聞いてませんよって、そう言ってますが、市長、あなたの単独で下したんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

最後の決断は私でございますが、私は、今回は上程しないからなと言ったわけではございません。職員とやっぱり協議をしながら決定させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

嶋田課長、今回上程するのやめようかなとかというふうに聞きましたんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田子ども課長。〔教育委員会子ども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会子ども課長（嶋田 猛君）

私どもは、市長からは直接は聞いておりませんが、上司のほうから、今そういったことも考えておられるといった部分の話というのを伺っておるところでありました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

上司から、なるほどね。

磯野次長は、それは事前に聞いてたんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

議案を上程しないことについては、私のほうから教育委員会の磯野次長、それから、都市政策課の五十嵐課長のほうに伝えさせていただきました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

井川さんね、それは何でみんなに議案が出る前に言ってないんですか。議案が出た後だって、みんな知らないと言ってるんですよ。どういうことなんですか、これ。独断じゃないですか、市長の。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

議会に議案提出する前に各部・課長のほうに、その議案の事前に何て言いますかね、事前に見ていただく機会がございます。そういった中では確認できるものというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

これやっぱりかわいそうだと思うんですよ。その前のね、11月の総務文教常任委員会では、教育委員会も都市政策課もね、やっぱりスケジュールから考えて、逆算して行って今しかない、何を言われようともこの計画はやっぱり進めたいと一生懸命やったんじゃないですか。それを自分たちの、しかも自分の独断でさ、今回ちょっと議案出したって通りそうもねえわっていうんでさ、いろいろやったんでしょ、議員さんに当たりをつけたっておかしいけど。その結果、どうやったって賛成する目がそこでなくなってきたんで、今回はやめ、3月でもう一回勝負だというふうにしたんでしょ、市長。それやるとき、せっかくスケジュールやって、今しかない、今回しかないと言ったのを3月で間に合うじゃんって話だよ。12月でしか間に合わないと言ったのを、どうなるんですか、これ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

総務文教常任委員会の際にも、DBOでいった場合のスケジュールというのをお示ししています。あのときには、令和8年11月でしたかね、当然オープンまでに余裕を持って、余裕といいますか、これから設計とか工事とかどういふことがあるか分かりませんので、最初から3月31日を狙ったスケジュール組むほうがちょっとどうかと思いますし、それを議会のほうにもちゃんとお示して、こういうスケジュールでいくためには、もう12月の議会をお願いをするしかないというふうに私どもは、そこに予定をふかして説明したつもりもございませんし、その余裕部分がなくなったなという、じゃあこれからどうやって仕事をしていこうかなというところは、これからは本当にねじ巻かなきゃいけないとこだと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

基本的にね、今回の問題、あー、ちょっと一つお聞きしたいんですけどさ、総務課長、パブリッ

クコメントってありましたよね。あれ何のためにあるんですか。また、やった結果には、どういう意味があるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えします。

市がつくった計画に対して、その内容について市民からご意見を頂いた上で、また新たにそれについて反映をするものでありまして、それができる、できないは別といたしましても、市民から一度見ていただいた上で、その計画についてのご意見を伺うというのが主でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

このパブリックコメントをまとめたのは、教育委員会なのかな、総務課なのかな。結局さ、その中の市にとって都合のいいことがA、B、もしくは厳しい意見、反対みたいなのはC、Dにしちゃったよね。その中のA、B、C、Dで、それぞれの数で一番多かったのはどれですか。A、B、C、Dそれぞれの数を教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

まず、Aが10件、続きましてBが22件、Cが33件、最後になりますが、Dが8件となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

やっぱりね、パブリックコメントは、声なき市民の声を聴く機会なんですよ。だから、国が大事業や新しい規則・決まりをつくる時には、市民の声をちゃんと聴いてつくってくださいね。それはね、ただ聞けばいいってもんじゃないんだよ。A、Bが例えば賛成だとして32、C、Dが反対だとして41だよ。過半数を超える部分が反対、もしくは見直しを言ってるんじゃないですか。そこは真摯に耳を傾けるべきじゃないんですか。

時間がないから細かいところはまた、この問題につきましては、総務文教常任委員会でやれるんでね、そこでまた聞きたいと思いますけど、それからやはり市民の声はやはり厳しいです。厳しいというよりも、ほかの施設でできるじゃんという、遊ばせるだけならね。子供の支援センターの役目、子ども・子育てについて説明する窓口だとか福祉だとかいろいろあるじゃないですか、そこで

できます、保育園でもやってくれます。

そんなことよりも保育園に入れてくださいというのが多い。保育園に入らないと仕事ができない。だけでも、仕事をしないと保育園に入れてくれないんだそうです。これは大きなロジックと言いましょうか、考え方の違いなんだけど、そこの制度だっで見直してあげればいいじゃないですか。

それから、今回の建設費12億4,000万円、プラス10年間で維持費10億円、これさ、値上げは絶対ないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

議員ご指摘のとおり、絶対変えたくないというのは、そういう気持ちであることは間違いございませんが、しかし、今非常に物流だとか、また地球上の政情不安において、いろんなものが変化する部分があるかと思っておるわけでございまして、極力やはりコストを抑えながら、そういった初期の計画を変えないように進めていきたいとは思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

これ議員の先生の皆さん、これ十分お気をつけくださいよ。今話題になってる大阪万博、初期の何十倍にもなってますね。最終的には1兆円は、あの周辺全体の開発費を入れると1兆円超えるんじゃないかと言ってる。何が1,280億円だよと言いたくなるね。桁が全然違ってくるじゃないですか。

もっと身近な話をすれば、キターレ、あれ当初、2階建ての話だったよね。それは、私がちょっと落選していない間に1階になっちゃったよね。あれ幾らで通したの。何でそういうことになったんですか。当初予算幾らで、何で1階になったかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員、通告内にしていただきたい。

○17番（古畑浩一君）

公共事業の施設が、なぜこんなに高くなるかの一例としてお聞きしたいんですよ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

数字については、今手元にございませぬ。

ただ、これを設計段階で議会の皆様にお示ししてきた2階建てモデルが、設計を進めていくにつ

れて、とつてもそれでは実現できなくなつたということで、途中で設計を修正していったというもので、そのときの私、ほかのところで聞いておつたのは、本当はそんだけ要るはずだつたのに、1階にすることは大丈夫なのかという議論と、何で最初のお金が甘かつたんじゃないかという、そういう双方のご批判を頂いたというのが今の記憶でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

総工費は15億円です。解体費や整地する、全部入ってる。だけど今のこの公共事業の値上がりだとか、議案が通つた後に上げてくるんですから。それをまた予備費で充当するんでしょう、そういうやり方も駄目だとずっと言ってきてる。全体の予算の値上げについたって、公共事業はやっぱりそういう意味では当初予算とは全然違う。やっぱりそれはもう考えてやっぱり話を聞いていかないと、本当にそのものが要るのかどうなのか。誰が使うのか。使つた後がどうなるのか。私たちは真剣に考えなきゃいけない。

それから、議長。

○議長（松尾徹郎君）

時間が参りました。

○17番（古畑浩一君）

はがき来てます。

○議長（松尾徹郎君）

時間が参りました。

○17番（古畑浩一君）

はがきせつかく読もうと思つたのにな。議長が読むなと言うんだから、ここでやめます。残念ながら、市民の皆さんがくれたはがきなんですけどね。

終わりますよ。いいですよ、もう終わってます。終わります。これ時間で切るようにすりゃいいんだね。ぶちって。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、古畑議員の質問が終わりました。

これをもちまして、一般質問を終結いたします。

日程第3．議案第99号

○議長（松尾徹郎君）

日程第3、議案第99号、令和5年度糸魚川市一般会計補正予算（第6号）についてを議題いたします。

提案理由の説明を求めます。

米田市長。